

各施設長様

第 7 回 保育部会研究委員会報告書

浜田市保育連盟会長 山崎 央輝		保育部会長 宮本 ゆかり(れんげ保育園)			
開催日時	令和 6 年 5 月 29 日(水) 14:00~17:00	開催場所	総合福祉センター ボランティア室	記録者	廣瀬 由香 (うみかぜこども園)
出席園	みのり第 2・おぐに・くもぎ・三隅・浜田ひかり・うみかぜ			欠席園	無し
<p>1. 新委員を含めての今までの振り返り・方向性 ・協議内容</p> <ul style="list-style-type: none">・0, 1 歳を対象とした主体性を考えていく。生活だけにしぼるのは難しいと思うので、遊びも考えてみる。・各園より遊びの様子を写真に撮り持ち寄り、どんな風に過ごしているかなど発表する <p>2. 各園の様子</p> <ul style="list-style-type: none">* ロッカーに自分の母親の写真を貼る* 鏡を別紙の柵や段ボールに張り付けて自分の顔を見る機会を増やすことで自己認識を促す* 布を使った遊び、布の感触を楽しむと共に友だちや、保育者と顔を見合わせながら遊びを楽しむ* ロッカーの置き方や、押し入れの中を活用する。遊びの様子空間を分けることで自分の遊びに集中できる。(ごっこあそびの環境に活用)* 絵本は表紙が見えることで自分の見たい、読みたい本を見つけやすい環境* 自分で遊びたいという気持ちに寄り添い子どもの目線に合わせた環境* 見立て遊び、つもり遊びが楽しくなるような環境* 手の届く場所におもちゃを配置し、好きな遊びを好きな時に楽しめるようにしている* にぎる、引っ張る物を手の届く場所に置く。そうすることで片付けを自分たちでできるようになる* 布団を出しっぱなしにして好きな時に寝転 <p>○遊びの様子を通して感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none">* 午前中の遊びを午後もしたい時はそのまま柵に置いておく* 0歳児は言葉が出ないので大人の表情を見て学ぶので笑顔で語りかける* 子どもは子どもの中で育つので泣いていて抱っこして泣き止んだら子どもの中にもどす* 子どもの遊びが見えるように座らせたり、ご飯を食べる時、みんなの顔が見えるように座らせる* 保育観が違ふとやり方などが違ふので価値観の共有が大切だと感じた* 頭が(考え方)硬いのでどのようにすればいいかわからない時がある →施設見学ができれば良いと思う* 今日の遊びを明日に繋げる <p>※次回は 8 月 22 日(木) 自分の園の課題を持ち寄る (主体性を考えた取り組み)</p>					